

# 第12回 大分自然環境研究発表会



大分県内には自然環境の調査研究や保全活動を行う個人や団体が数多くあります。2011年より、そのような個人・団体の交流・連携・活動の発展を目指し、団体の枠にとらわれない合同の研究発表会を企画・開催しています。

## 日時

2025年 **12月13日(土)**  
10:00～15:35 (9:30開場)

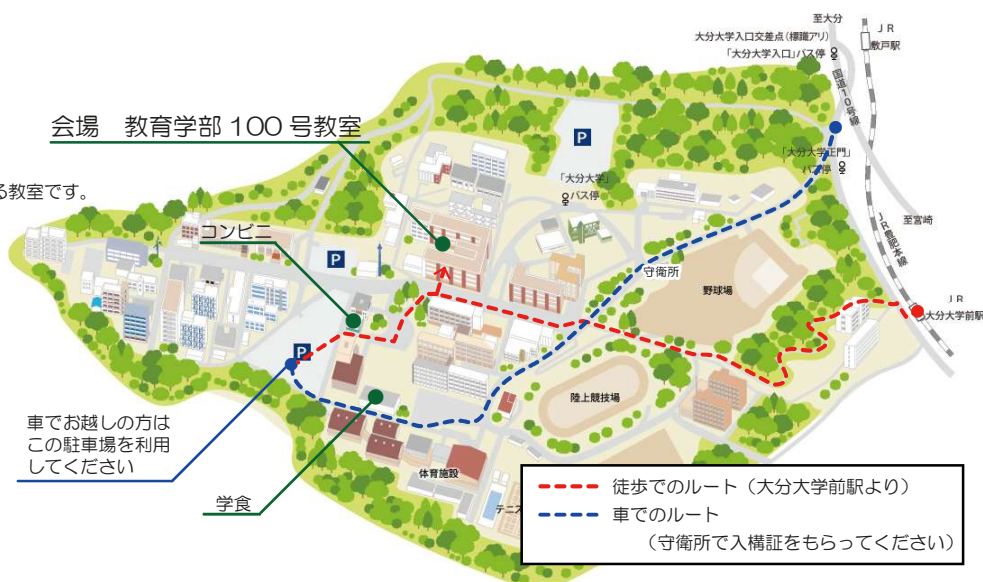
## 会場

**大分大学**

旦野原キャンパス  
教育学部(100号教室)

## アクセス

前回会場とは異なる教室です。  
ご注意ください。



## 対象

どなたでもご参加いただけます。**参加無料で、事前申込みは不要**です。  
お気軽にご参加ください。

## その他

プログラムの詳細は裏面を参照ください。  
当日はコンビニ・学食が営業しています。  
ご不明な点はE-mail (ooita\_nature@yahoo.co.jp) までお問い合わせください。

主催：大分自然博物推進委員会

共催：三学会(日本動物学会九州支部・九州沖縄植物学会・日本生態学会九州地区会) 大分例会

後援：大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、J:COM 大分ケーブルテレコム

第12回 大分自然環境研究発表会 プログラム

時刻		プログラム／演題と発表者氏名（所属）	
10:00～10:05		開会挨拶	
10:05～10:25 (発表15分/質疑5分)	第1題	大野川下流域に見られる淡水赤潮について	○細井 利男（大分生物談話会）
10:25～10:45 (発表15分/質疑5分)	第2題	大分市周辺部の里山における野鳥調査（2023/03-2025/02）	○植木 和宏（株式会社レックス九州）
10:45～11:05 (発表15分/質疑5分)	第3題	自宅のビオトープに来るカエル	○森田 祐介（NPO法人おおいた生物多様性センター）
11:05～11:15		休憩	
11:15～11:35 (発表15分/質疑5分)	第4題	大分県で新たに定着が確認されたオオムカデ科の1種について	○松向寺 智哉（筑波大学理工情報生命学術院）
11:35～12:05 (発表25分/質疑5分)	第5題	大分県における海水魚類の標本収集活動	○星野 和夫（大分マリンパレス水族館「うみたまご」）
12:05～13:15		昼休憩	
13:15～13:35 (発表15分/質疑5分)	第6題	おおいたかわまちリバーフェスタ(2024年、2025年)における水生生物展示	○高野 裕樹（大分生物談話会 魚類班）
13:35～13:55 (発表15分/質疑5分)	第7題	絶滅種ニホンアシカの高島における生息記録	○安田 雅俊（森林総合研究所）
13:55～14:15 (発表15分/質疑5分)	第8題	高島においてヤブツバキの年輪に記録された外来リスの食痕の観察例	○森澤 猛（森林総合研究所） 安田 雅俊（森林総合研究所）
14:15～14:25		休憩	
14:25～14:45 (発表15分/質疑5分)	第9題	大分市七瀬川自然公園周辺に生息するコウモリ類の種の推定および音声数と気象要素の関係	○大分県立雄城台高校科学部（顧問：安部慶一郎）
14:45～15:05 (発表15分/質疑5分)	第10題	センチンボウが消える日 ー姫島の魚類方言を考えるー	○足立 高行（NPO法人おおいた生物多様性保全センター・信州大学人文学部）
15:05～15:30 (発表20分/質疑5分)	第11題	県立自然史博物館構想に向けて 地質編：大分の地質多様性の紹介	○利光 誠一（大分地質学会） 山田 俊治（大分地質学会） 堀田 秀俊（大分地質学会）
15:30～15:35		閉会挨拶	

実際の進行時間は、大きくずれることがあります。